

疏水稲生川のふれあい・学び・安らぎ

— 稲生川土地改良区 —

1 施設の概要

稲生川は、今から約150年前、新渡戸傳翁により上水され、その後、国営・県営農業農村整備事業による改修・整備により、現在約6千haの農地にかんがい用水を供給。

さらに、用水の供給に加え、ふれあいや学び・安らぎの場となって、広く地域の人々に親しまれており、平成18年には農水省の「疎水百選」に認定され、一般投票で全国第一位に選ばれたほか、平成25年には、稲生川を含む三本木開拓施設群が土木学会選奨土木遺産に認定。さらに平成26年には、国際かんがい排水委員会の「かんがい施設遺産」に登録。

2 取組内容

① 十和田ウォーク

毎年5月3日に開催され、稲生川沿いに「稲生川頭首工～ふれあい公園～一本木沢ビオトープ～桜の広場」を20km、13km、5kmの3つのコースに分かれて歩き、稲生川に親しんでいる。途中、施設の説明があり、十和田市開拓の歴史等を探ることができる。



春の稲生川沿いを歩く

② 稲生川せせらぎ活動委員会

稲生川ふれあい公園において、周辺16町内会の地域住民約300人が参加し、環境整備活動の一環として植栽活動に取り組んでいるほか、稲生川ふれあい祭りを開催。



地域住民による植栽活動

③ 施設見学会

稲生川の受益地内の小学生を対象に、農業施設を案内し稲生川の歴史や役割に対する理解を深めてもらうものであり、毎年10校以上で見学会を実施。

3 今後の方向

稲生川の持つ景観形成・生態系保全などの多面的機能や三本木原台地開拓の歴史について、これからも地域住民とともに啓発しながら、各活動を進めていく。

4 問合せ先

上北地域県民局地域農林水産部農村計画課 電話：0176-23-5317
稲生川土地改良区 電話：0176-23-5066